

第53回洗淨に関するシンポジウム

主催 日本油化学会 洗淨・洗剤部会
協賛 日本家政学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会、色材協会

日時 令和3年10月12日（火）～15日（金）
会場 オンライン開催（LINC Biz（AIoTクラウド社リモート会議システム））

プログラム概要

特集「with コロナ/after コロナがもたらす変化と対応」、一般講演、オープンセミナー及びオリジナルレポート

参加費（消費税を含む）

	事前振込	当日
洗淨・洗剤部会員	9,000 円	WEB 開催 のため受け 付けません
本会*1 正会員	10,000 円	
本会*1 法人会員	12,000 円	
協賛学会員	12,000 円	
Co-メンバー*2	12,000 円	
会員外	15,000 円	
学生	5,000 円	

*1 日本油化学会 *2 Co-メンバー登録費用(1,000 円)を含む

「Co-メンバー」のご案内

洗淨・洗剤部会では学会活動活性化の一環として「Co-メンバー」制を導入しています。

日本油化学会会員以外の方を対象として、当部会関連情報の配信や、本シンポジウム及び当部会開催セミナー参加費の割引が適用されます。

Co-メンバー資格は次回シンポジウムまで（約1年間；年会費1,000円）です。是非、ご入会ください。

なお、日本油化学会会員の方は、この機会に是非、「洗淨・洗剤部会」にご入会下さい（無料）。

懇親会 なし

申込〆切 令和3年10月6日（水）

振込〆切 令和3年10月6日（水）（開催日当日の受付は行いませんので、ご注意ください。）

申込方法 下記ホームページの申し込みフォームへアクセスいただき、お申し込み手続きをお願い致します。

★★★[ホームページアドレス \(https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/\)](https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/)★★★

*上記申し込みフォームでの申し込みが難しい場合には、下記問合せ先までご連絡ください。

振込方法 参加費は申し込み締切日まで【入金の確認が行えるよう】に銀行振込にて前納して下さい。
（開催日当日の受付はおこないませんので、ご注意ください。）

当方にて振込が確認できなかった場合、振込用紙を提示していただく場合がございます。
なお納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込： **三井住友銀行 日本橋東支店 普通預金口座 7697594**
口座名義 **日本油化学会 洗淨洗剤部会**（ニホウガケイ センゾウケンザイブカイ）
*カタカナでの振込先入力が必要な際にはご注意ください。

問合せ先 日本油化学会 洗淨・洗剤部会 事務局
ライオン（株）ファブリックケア研究所 天谷 友彦（あまたに ともしこ）
〒132-0035 東京都江戸川区平井7-2-1 E-mail: senjou-senzai@jocs.jp
TEL 03-3616-3390 FAX 03-3616-3542

【プログラム】

■10月12日（火）

12:50～13:20 開会の辞／最近の洗浄研究・洗剤技術の動向

洗浄・洗剤部会長（茨城大）木村 美智子 氏

＜特集 with コロナ/after コロナがもたらす変化と対応＞

13:20～14:20 ウィズコロナ・ポストコロナの消費者像

（ニッセイ基礎研究所）久我 尚子 氏

新型コロナウイルス禍で消費行動や働き方が大きく変容している。政府統計や意識調査を用いて、ウィズコロナの状況を振り返るとともに、ポストコロナの新たな暮らしを考える。

14:20～15:20 新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価

（製品評価技術基盤機構）加藤 慎一郎 氏

2020年3月、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いアルコール消毒液の需給が逼迫した。経済産業省の要請を受けた独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）は、家庭等で物品を消毒する際のアルコール消毒液以外の消毒方法の選択肢を増やすことを目的に、複数の機関の協力を得て新型コロナウイルスを用いた検証試験を実施し、有識者で構成される検討委員会において候補物資の有効性を評価した。その検討過程と結果について紹介する。

－休憩 15:20～15:30（10分）－

15:30～16:30 COVID-19の接触感染経路のリスクマネジメント

（花王）藤井 健吉 氏

COVID-19感染制御が求められる渦中で、花王はエアロゾル・飛沫・接触の各曝露経路ごとに、ウイルス曝露量評価に基づき有効な対策の社会実装を担った。本講では、新興リスクに対するレジリエンスな事前警戒のあり方に焦点をあて、感染症リスクマネジメントにおける環境消毒（洗浄）技術の真価を論じる。

16:30～17:30 「新しい生活様式 with コロナ」の構築ソリューション ～衛生対策のニューノーマル～

（サラヤ）隈下 祐一 氏

Covid-19流行下で実践されるようになった日常の衛生対策について言及するとともに、より効果的な衛生対策手法や衛生対策を行うタイミングなど、アフターコロナでも実践してほしい衛生対策のポイントについて紹介する。

■10月13日（水）

＜一般講演＞

10:00～11:00 非イオン界面活性剤が作る集合体の構造とダイナミクス

（東京都立大）加藤 直 氏

ポリオキシエチレン系界面活性剤水溶液を対象に、(1)希薄および濃厚ミセル相・ラメラ相の構造と相挙動 (2)ラメラ相のずり流動場誘起構造転移に関する演者らの研究について述べる。

11:00～12:00 ノボザイムズのSDGs戦略と洗剤におけるソリューション

（ノボザイムズ ジャパン）鈴木 陽一 氏

SDGs（持続可能な開発目標）の発想は、消費者意識にも徐々に浸透してきている。本講演ではノボザイムズのグローバルな取り組み、および洗剤分野でのソリューションについて酵素によるアプローチを紹介する。

—昼食休憩 12:00～13:10 (1時間10分)—

＜オープンセミナー＞

13:10～14:10 ナノ物質抽出のための界面活性剤“ゲル”の構築と応用

(お茶の水女子大) 伊村 くらら 氏

低分子ゲル化剤としてはたらく界面活性剤は、ナノ物質の回収剤としても作用する。有機色素や無機ナノ粒子といった有色物質をゲル状態会合体の内部に取り込みながら、水中から抽出するモデルについて紹介する。

14:20～15:20 体臭成分の繊維への収着挙動に及ぼす界面活性剤の影響

(文化学園大) 山岸 理恵子 氏

清潔志向の高まりにより、「衣服につくニオイ」を気にする生活者が増加している。体臭成分の各種繊維への収着挙動および洗濯時に繊維に残留した界面活性剤が臭気の収着に及ぼす影響について研究例を挙げて解説する。

15:30～16:30 超撥水表面をどうデザインするか：ハスの葉とシロアリの翅の表面構造から学ぶ

(旭川医科大) 眞山 博幸 氏

ハスの葉にぶつかった雨粒が跳ね返ったり、葉の表面でコロコロ転がる動的な濡れ現象を中心に講演する。具体的にはハスの葉にぶつかった雨粒がなぜ跳ね返る現象を幾つかのエネルギーを考慮することで理解できることを紹介したい。

16:30～16:35 閉会の辞（講演及びオリジナルレポートの配信について）

洗浄・洗剤部会 副部会長（大阪技術研）懸橋 理枝 氏

■10月12日（火）～10月15日（金）

＜オリジナルレポート＞

閲覧可能期間：10月12日（火）12:00～10月15日（金）17:00

コアタイム：①10月14日（木）14:00～15:00 ②10月15日（金）14:00～15:00

（コアタイムの間は発表者がビデオ会議で質疑応答に対応予定です）

1. 口腔内細菌に対するオゾンウルトラファインバブルの殺菌効果

（新潟大院^{*1}、新潟大工^{*2}、新潟大歯^{*3}、イワセ^{*4}、フューテックニイガタ^{*5}）○小林嵩季^{*1}、牛田晃臣^{*2}、土門久哲^{*3}、安部隆^{*2}、瀬戸光一^{*4}、樋渡忠^{*5}、小浦方格^{*2}、寺尾豊^{*3}

2. 電解水と界面活性剤を併用した布洗浄へのウルトラファインバブル混合の効果

（新潟大院^{*1}、新潟大工^{*2}、TECH Corp.^{*3}、新潟大超域^{*4}）○萩中竜士^{*1}、牛田晃臣^{*2}、小浦方格^{*2}、中本義範^{*3}、佐藤大祐^{*4}

3. ファインバブル水による布の洗浄性～綿とポリエステルと比較～

（茨城大）○木村美智子

4. 洗浄力を表す確率密度関数法で得られる2つのパラメーターの物理化学的意味

（千葉ろうさい病院^{*1}、横浜国立大^{*2}）○長谷川(大矢)美安子^{*1}、大矢勝^{*2}

5. 不安定な界面活性剤溶液の泡の粘弾性の計測方法
(横浜国立大院) ○河村有香、大矢勝
6. タンパク質の変性が洗浄性に及ぶ影響
(横浜国立大院) ○清水早詠、大矢勝
7. 布帛上タンパク質の直接定量における共存物質とタンパク質種の影響
(実践女子大^{*1}、東京学芸大^{*2}、文化学園大^{*3}) ○塚崎舞^{*1}、森田みゆき^{*2}、米山雄二^{*3}
8. 弾性着衣に対する洗濯の影響
(文化学園大^{*1}、文化学園大院^{*2}) ○角田薫^{*1}、小林未佳^{*1}、高城咲楽^{*2}、米山雄二^{*1}
9. 洗濯機の機械力を再現したミニスケール洗浄試験方法
(横浜国立大院) ○佐藤勇矢、大矢勝
10. 色素系スポット汚れの洗浄に関する評価法の開発
(横浜国立大) ○佐伯彩花、大矢勝
11. 色相変化を利用した洗浄評価アプリケーション開発
(横浜国立大院) ○築澤徹、大矢勝
12. ATR-FT/IR 法を用いたタンパク質分解酵素添加による汚れ成分の除去効果
(東京家政大^{*1}、東工大^{*2}) ○井坂歩美^{*1}、安藤慎治^{*2}、葛原亜起夫^{*1}
13. ATR-FT/IR 法を用いた各種アルカリ電解水による汚れ成分の洗浄評価
(東京家政大) ○葛原亜起夫、井坂歩美
14. アミドアミノオキシド型低分子ゲル化剤を用いたゲルエマルジョンの調製
(関西大^{*1}、大阪技術研^{*2}) ○中野寛之^{*1}、懸橋理枝^{*2}、東海直治^{*2}、中川充^{*2}、川崎英也^{*1}
15. アミドアミノオキシド型界面活性剤水溶液の粘度挙動－アミド基間のスパーサーの効果
(大阪技術研) ○懸橋理枝、東海直治、中川充
16. 衛生陶器の汚れ物質除去性評価
(LIXIL^{*1}、横浜国立大^{*2}) ○中島佑介^{*1}、川合秀治^{*1}、佐藤浩司^{*1}、奥村承仁^{*1}、吉岡一輝^{*1}、大矢勝^{*2}
17. 家庭内におけるウイルス接触伝播に着目したケア効果可視化の取り組み
(ライオン^{*1}、岡山理科大^{*2}) ○大竹景子^{*1}、関根由可里^{*1}、蔭山貴也^{*1}、瀧沢岳^{*1}、
杉山淳一^{*1}、柿澤恭史^{*1}、森川茂^{*2}
18. 手洗いによる抗菌・抗ウイルス効果の持続性に関する研究
(ライオン) ○土岐梨彩子、堀内惇平、浅野ほたか、立川将史、白江航、古賀丈一朗、内藤厚志
19. 両親媒性エステルによる界面活性剤水溶液の動的表面張力に及ぼす影響
(小林製薬^{*1}、横浜国立大^{*2}) ○山本航平^{*1}、伊庭翔子^{*1}、吉田郁代^{*1}、大矢勝^{*2}
20. 新規再汚染防止ポリマーによる、衣料用洗剤の更なる環境対応
(クラリアントジャパン) ○李京蘭、堀内武士、榎本浩二
21. WeylClean SAS：優れた水切り性を有する硬質表面洗浄剤組成物の提案
(アゼリスジャパン) ○竹内秀夫、岡田訓幸、新藤大彰
22. QSense QCM-D クリーニングプロファイルによる洗剤の洗浄効率の評価
(アルテック) ○渡辺夏菜、松浦良典、大石善教

以上